

文京区補助金等チェックシート

所属 福祉部障害福祉課

1 補助金の名称等

30年度調査

補助金の名称	心のバリアフリー推進事業(共生のための文京地域支援フォーラム事業補助金)						
根拠規定等	共生のための文京地域支援フォーラム事業補助金交付要綱						
創設年月	平成	30	年	4	月	経過年数 <small>(自動計算)</small>	終了予定年月
直近の見直し年月			年		月	経過年数 <small>(自動計算)</small>	
見直しの内容							
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	実施計画事業番号	
	05 民生費	03 心身障害者福祉費	01 心身障害者福祉事業費	25 障害者差別解消推進経費	02 心のバリアフリー推進事業	-	
補助金の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給						

2 補助金の概要

補助目的	広く区民に対し、障害及び障害者・児に対する理解を深め、共生社会の実現を図ることを目的として、共生のための文京地域支援フォーラム実行委員会が実施する障害者との共生を図る事業に要する費用の一部を補助する。						
補助事業等の内容	実行委員会が実施する事業に要する費用の一部を補助						
補助対象経費の内容	(1) 講師等への謝礼 (2) 広報に要する経費 (3) 施設使用料に要する経費 (4) その他区長が必要があると認める経費						
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	[特定の相手方に補助している場合は具体的に記入] 共生のための文京地域支援フォーラム実行委員会						
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 [補助率] <input type="checkbox"/> 定額 [補助額]						
	<input type="checkbox"/> 補助単価 [補助単価 単位] <input checked="" type="checkbox"/> 規定なし <input type="checkbox"/> その他						
	[その他の場合は具体的に記入] 補助対象経費のうち、実費換算とする。 [定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入]						
公募の状況	非公募						
実績報告書時における 用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書(写し) <input type="checkbox"/> 契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input type="checkbox"/> その他 []						
補助・単独の状況	<input type="checkbox"/> 区単独		負担割合	区	国	都	補助対象者
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)			按分率による	按分率による	按分率による	
		上乗せの内容・理由					

3 補助金の交付の適否に関する基準 [A:適合している、B:適合していない、C非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	A	障害のある方への理解を深め、共生社会の実現を図ることは、社会情勢に適合している。
	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	A	障害者・児計画の計画事業であり、広く区民に対し障害者理解を深めることができるため、区の政策に適合している。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	A	本事業は公益性があり有益であるため、区が補助すべきである。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	A	実施しなかった場合、事業が縮小されて障害者理解の促進にマイナスの影響が出る。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	C	共生のための文京地域支援フォーラム実行委員会が実施する事業に対する補助である。
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	C	要綱に基づき、適正な手続きによって決定する。
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	A	実行委員会形式の自主性を重んじるとともに、そのノウハウを十分に発揮させるには、当該補助金以外の代替策はない。
	補助金の交付による効果が認められるか	A	当該補助の実施により、広く区民に対し障害のある方への理解を深めることができる。
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	A	当該補助の実施により、広く区民に対し障害のある方への理解を深めることができる。
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	A	事業の実施を通じて、障害者理解を深めることができ、広く区民に還元される。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	A	適正であり、法令等に接触していない。
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	A	地域支援フォーラムの実施は、本補助事業の目的に合致している。
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	A	要綱に基づく書類の提出により、目的に沿った使途となる。

4 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(予算)			
交付(見込み)件数	1			
決算(予算)額	300			
国庫支出金	63			
都支出金	31			
その他	0			
一般財源	206			
29年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)				

5 課題及び今後の方向性

第14回共生のための文京地域支援フォーラム「グループホームでの生活」報告会
 東洋大学社会福祉学科志村ゼミとの協働により、グループホーム入居者への聞き取り調査を行い、グループホームでの生活にかかわる様々な実態を調査する。また、報告会を行うことで、広く区民に対して障害者理解を促す。
 平成30年12月開催(予定)